

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定期株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711(通話料無料)
上場取引所	大阪証券取引所ジャスダック市場
公告方法	当社HP(http://www.uchiyama-gr.jp)での電子公告により行う。ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

- (注)1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社等で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒802-0044
北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号
内山第20ビル1F
TEL : 093-551-0002(代表)
お問い合わせアドレス : <http://www.uchiyama-gr.jp/cgi/form/form.cgi>



ミックス
責任ある木質資源を使用した紙

FSC®
www.fsc.org

FSC® C017219

株主・投資家の皆様へ

UCHIYAMA REPORT

| ウチヤマ通信 | 第8期 第2四半期 2013年4月 1日から
2013年9月30日まで



Uchiyama Holdings
証券コード 6059





ウチヤマグループならではの “理念と哲学の実践型経営”により、 全国への事業拡大を 積極的に推し進めて参ります。

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。当社は、お陰様で2012年4月の株式上場から2年目を迎えて、お客様からのご要望にお応え出来るように事業展開は全国への拡大を視野に入れております。今後も皆様のご期待にお応えすべく、全社一丸となって企業価値の最大化を取り組んで参りますので、引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

各事業における積極的な営業活動により、 当上半期は二桁の増収増益となりました。

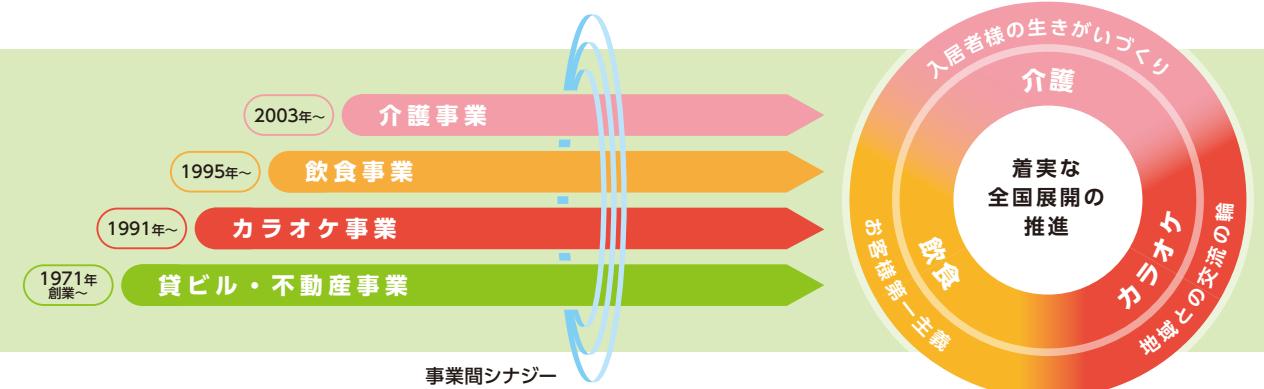
当上半期の連結業績は、前年同期比11.0%の増収、同21.5%の営業増益となりました。この業績伸長の主な要因は、収益の2本柱である介護事業・カラオケ事業において、全国展開を視野に入れた施設・店舗の拡大が順調に進んでいること、カラオケ事業が増収増益基調に転じたことなどによります。

介護事業では、新たに2カ所4事業所を開設し2013年9月末現在で54カ所109事業所となっております。また、前期に開設した施設への入居が進捗したことによる収益拡大に貢献しました。

カラオケ事業では、九州・沖縄エリアに3店舗を新規オープンしま

したが、契約期間の満了に伴い、2店舗閉鎖した結果、2013年9月末現在で86店舗となっております。飲み放題コースや、65歳以上のシニア層向けに特典を強化した会員制度など独自の施策展開によって、固定客の拡大やリピートの増加に努めた結果、厳しい市場環境の中で既存店の売上高を前年同期比99.7%とほぼ横ばいの状況に維持できたことも収益の下支えとなりました。

当社グループの成長戦略では、介護事業を「成長の原動力」、カラオケ事業・飲食事業を「安定収益力」と位置づけて、事業の全国化を推し進めております。この戦略のもと、下半期においてもカラオケ事業・飲食事業で売上と利益を安定的に確保し、介護事業の積極的な展開を図っていくことで、通期においても増収増益を果たしたいと考えております。



“理念と哲学の実践型経営”こそが介護事業には不可欠であると確信しております。

日本が益々高齢社会の度合いを深める中、“介護分野は新たな成長市場”と捉えて新規参入する企業が後を絶ちません。後発企業の中には、過当競争化する環境を乗り切るために提供する施設やサービスが“安かろう悪かろう”という状況に陥るケースも目立ってきました。

しかし、この状況は当社グループの考え方と真っ向から対立します。高齢者の方々は、戦後の日本を必死の思いで復興に導き、現在の繁栄を築いた功労者です。常に感謝の気持ちを持って接し、敬い、大切にしていかなければならない存在です。この基本を忘れて利益だけを求めるビジネスに走るようでは、介護事業を営む資格はないと思っております。

こうした原点的な認識から、当社グループは、「慈愛の心」、「尊厳を守る」、「お客様第一主義」の3つを経営理念とし、「幼青老の共生」(幼年・青年・老年、共に楽しく過ごせる社会作り)、「日本一の接遇とオペレーション」をスローガン(経営哲学)としております。これらの理念と哲学を実践していくこと、いわば“理念と哲学の実践型経営”こそが当社グループの目指すところです。

介護事業では特に、この姿勢が不可欠であると確信しており、この姿勢を全社員で追求していくことで、全国化を果たしていきたいと考えております。

人を大切に育て、人と共に、地域社会と共に発展していく会社にすることが私の使命です。

私は、事業が全国に広がり会社が大きくなっていくことは結果でしかなく、その中身が大事だと思っております。“理念と哲学の実践型経営”的基礎は、“人”です。当社グループが掲げる理念と哲学を理解し実践していく人材を一人でも多く輩出していくために、私自らが率先して教育に当たるなど人材教育に対して多くの時間と資金を投資しており、今後もこれを貫いて参ります。実は、社員の定年制度についても柔軟に対応しております。65歳定年という基準は設けているものの、70歳を超えた施設長や不動産部社員も現役で働いています。先日も、65歳を迎える女性施設長から今後の相談の電話があり、「貴女さえよければ是非これからも働いてください」とお預いしました。

人が育てば、地域の皆様との交流もまた活発化します。例えば、介護施設では地域の幼稚園や保育園との交流、「土曜喫茶」の開催による地域の方々との交流などを通して、地域に根差した施設運営に努めています。

当社グループは今後も積極的に業務を拡大して参ります。そしてそれは、社員や地域社会の皆様と共に発展していくことに他なりません。

営業概況

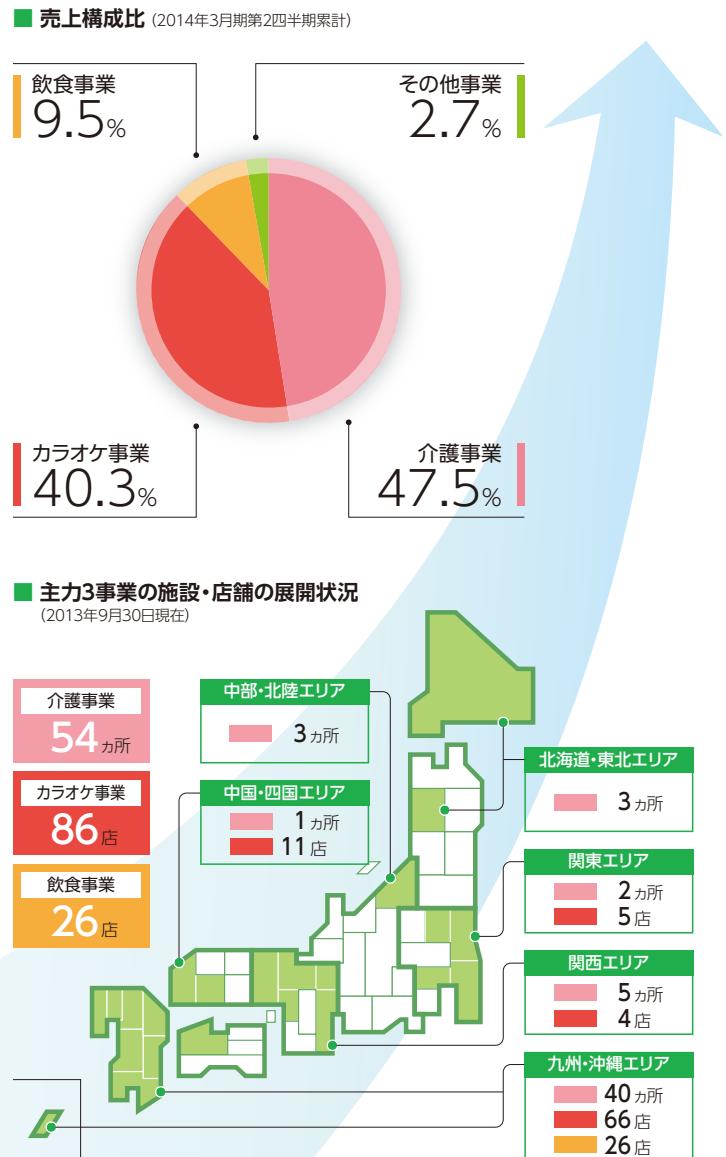
介護事業とカラオケ事業の拡大が増収を牽引

当上期(2014年3月期 第2四半期累計)は、主力2事業が共に増収(前年同期比で介護事業19.1%増、カラオケ事業6.0%増)となったことにより、連結売上高は前年同期比11.0%増の106億31百万円となりました。

経費面においては、コスト削減を進めることで経営の効率化を行い、業績の安定化を図った結果、販管費率が前年同期比0.4ポイント低下し5.9%となりました。この結果、営業利益は、同21.5%増の11億22百万円となりました。

通期の業績見通しは、当初予想通り、売上高226億23百万円(前期比13.3%増)、営業利益22億30百万円(同15.1%増)の増収益を予想しております。

2014年3月期第2四半期累計の連結業績



セグメント情報

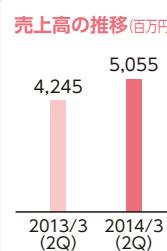
Nursing Care

介護事業



拠点拡大と施設運営の安定化に引き続き取り組み、大幅な増収となりました。

当上期は、6月にグループホームと小規模多機能型居宅介護施設の併設施設を2施設開設し、2013年9月末時点の営業拠点は54カ所109事業所となりました。また、既存施設では、安定した入居率維持のため、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携を強化しました。この結果、売上高は前年同期比19.1%増の50億55百万円となりました。



「レッドコード」でリハビリに取り組む利用者様

Topics

ご好評によりリハビリディサービスを拡充

当社は、高齢者の“生きがい”づくりの観点から、様々な取り組みを独自に実践しておりますが、本年より新たに、“リハビリ特化型”的デイサービスの展開を進めております。これは、天井から赤いロープをつるした「レッドコード」と呼ばれる機器を設置し、インストラクターの指導のもとで運動に取り組むことができるものです。

「さわやか清田館」(福岡)に併設したデイサービス施設にてスタート。大変なご好評をいただき、定員数を2倍以上に増やすとともに、新たに「さわやか宗像館」(福岡)にも導入しました。今後、“リハビリ特化型”的施設を順次拡大していく予定です。

Segment Information

セグメント情報

Karaoke

カラオケ事業



■ 売上高 4,286 百万円
(前年同期比6.0%増)

■ セグメント利益 873 百万円
(前年同期比21.8%増)

厳しい事業環境下、各種既存店の活性化策が奏功し、增收基調を確保することができました。

当上期は、3店舗の新規出店、契約期間満了に伴う2店舗の退店を行った結果、2013年9月末時点の店舗数は86店舗となりました。また、既存店舗では、飲み放題のコースなどの獲得強化のほか、前年から引き続き「さわやかゴールドメンバーカード」会員(65歳以上向け特典)の獲得推進など、リピートの増加に努めました。この結果、売上高は前年同期比6.0%増の42億86百万円となりました。

Topics

65歳以上の会員様が順調に増加

2012年6月に新設した「さわやかゴールドメンバーカード」の会員様(65歳以上専用)が、おかげさまで2.2万人(2013年9月末現在)まで増加してきました。この会員制度は、「幼青老の共生」という当社の経営哲学に基づいて、シルバー層の方々にもカラオケをお楽しみいただき、いつまでも健やかにという思いから設けた、年会費・入会金無料の特典付制度です。

特典①
当社経営のカラオケ店でルーム料30% OFF

特典②
当社経営の飲食店でご利用総額より20% OFF
(かんてきやグループの居酒屋)

特典③
当社経営のホテルで宿泊代金1,000円引
(さわやかハートピア明礬、さわやか別府の里)

■ 売上高の推移(百万円)

期間	2013/3 (2Q)	2014/3 (2Q)
売上高	4,042	4,286



「さわやかゴールドメンバーカード」

Food Service

飲食事業



■ 売上高 1,005 百万円 (前年同期比3.1%減)

■ セグメント利益 96 百万円 (前年同期比15.9%減)

リニューアルの実施等、既存店の活性化に努めました。

当上期は、2店舗の既存店舗リニューアルを行いました。タイムサービスによる利用促進、宴会需要の獲得等に努めましたが、リニューアル工事期間中の営業休止等もあり、売上高は前年同期比3.1%減の10億5百万円となりました。

ホテル事業における宿泊客の増加に努めました。

ホテル事業において、国内旅行が活性化する中、広告媒体を活用し宿泊客の増加に努めました。さわやかハートピア明礬では源泉かけ流しの温泉があり、「杖忘れの湯」とも呼ばれ好評を頂いております。不動産事業では、賃貸マンションの管理業務などを中心に行っています。この結果、売上高は前年同期比12.0%増の2億84百万円となりました。

■ 売上高の推移(百万円)

期間	2013/3 (2Q)	2014/3 (2Q)
売上高	253	284

■ 売上高 284 百万円 (前年同期比12.0%減)

■ セグメント利益 34 百万円 (前年同期比31.8%減)

Other

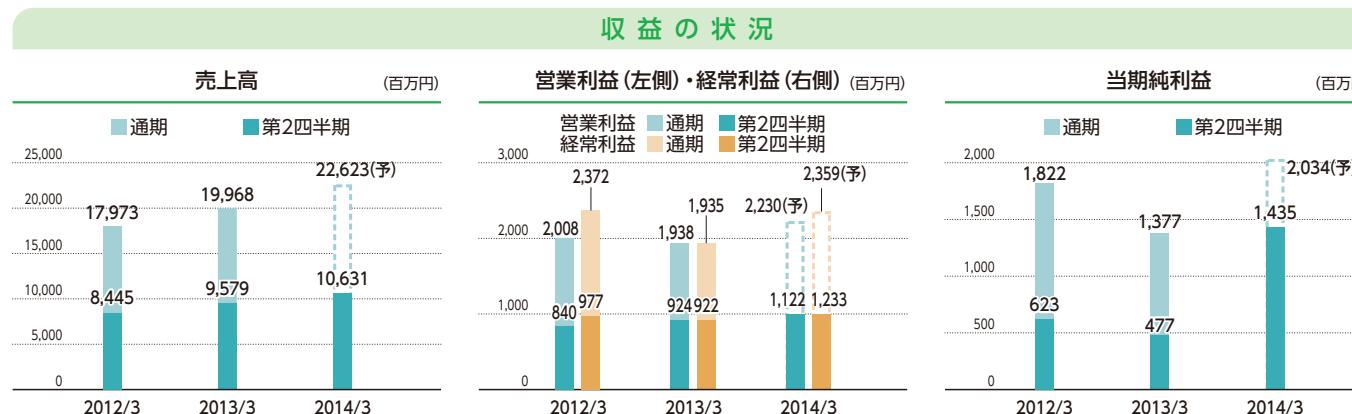
その他





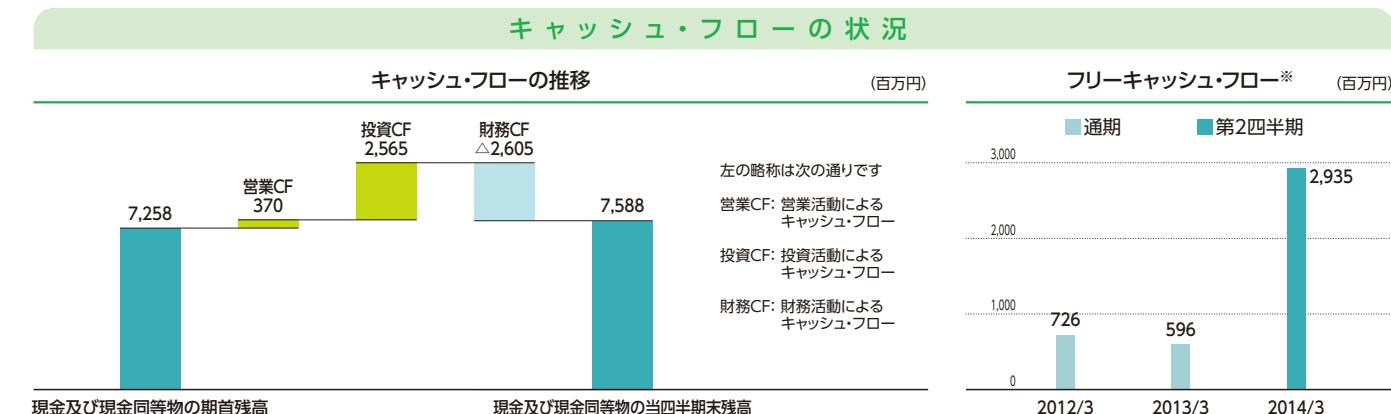
Consolidated Financial Highlights

2014年3月期第2四半期累計 連結決算のご報告

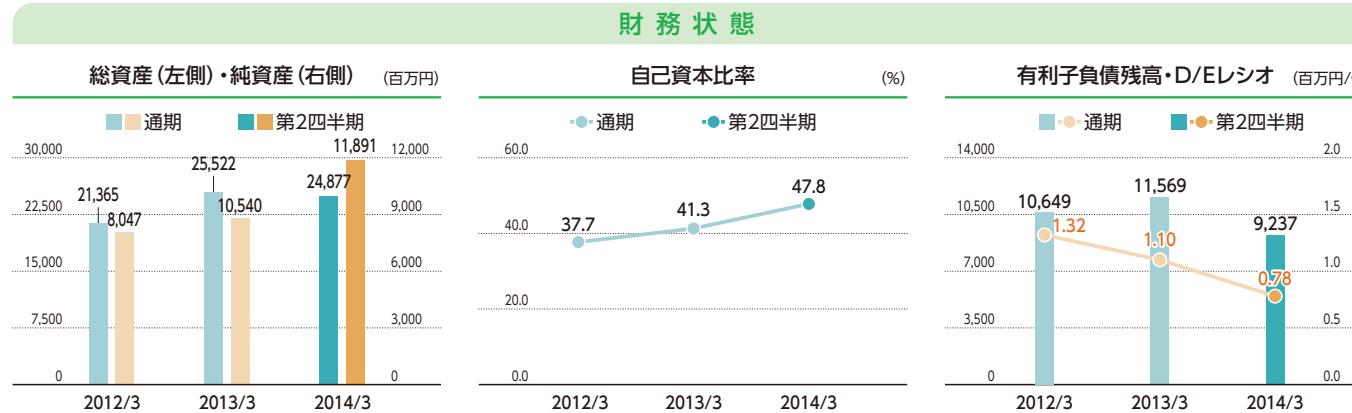
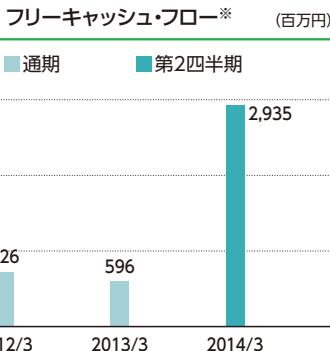


政府による経済政策の効果が徐々に現れ、輸出企業を中心に業績改善がみられるなど、景気回復の兆候が見られています。こうした環境下、当社グループは各事業において営業活動等を積極的に推し進めると同時に、事業間シナジーを向上させる取り組みにも注力しました。また、経費面においても、コスト削減を進

めることで経営の効率化を図りました。この結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高106億31百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益11億22百万円(同21.5%増)、経常利益12億33百万円(同33.7%増)、四半期純利益14億35百万円(同200.3%増)となりました。

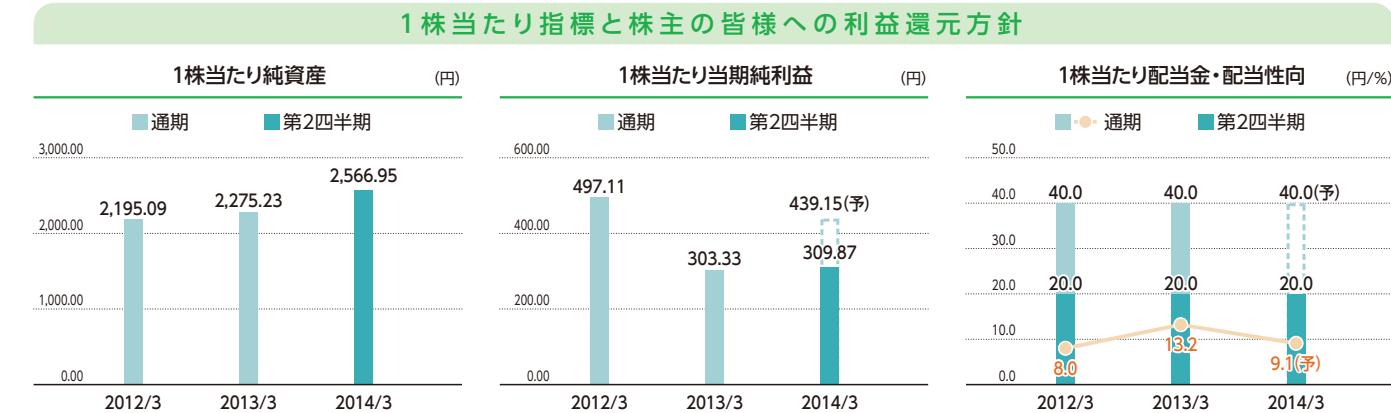


左の略称は次の通りです
営業CF: 営業活動によるキャッシュ・フロー
投資CF: 投資活動によるキャッシュ・フロー
財務CF: 財務活動によるキャッシュ・フロー



総資産は、現金及び預金、販売用不動産が増加した一方で、建物及び構築物、土地が減少したことにより、前期末比6億45百万円減の248億77百万円となりました。純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、同13億51百万円増の118億91百万円となりました。これらの結果、自己資本比

率は同6.5ポイント向上し47.8%となりました。なお、有利子負債残高は、長期借入金の返済等により同23億32百万円減の92億37百万円、D/Eレシオは同0.32ポイント改善し0.78倍となりました。



当社では、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、安定配当の継続に努めております。

当第2四半期末の配当金は、前年同期の実績と同様の1株当たり20円にて実施させていただきました。また、当期末の配当金は当初予想通り20円を計

